

芸術村かゆらばし

11/9より
開催中

萃点 - SUI TEN -

会期：11月9日(水)～2月中旬

20周年を迎えた芸術村。リトアニアと日本の交流を深める企画が続きます。昨年の秋に、リトアニアで展示され、好評を博した展覧会が西会津にやってきます。

音楽家の永井朋生さんとリトアニア人の舞台美術デザイナー、レナータ・ヴァルチックさんという異なる分野の2人のアーティストによる共同プロジェクトであり、6人のリトアニア人アーティストが参加する展覧会「萃点」。

展覧会のテーマは、『音とオブジェクトの間、そして変化する知覚』。それぞれのアーティストが一つのテーマに基づいて作り出したそれぞれの作品が融合し、音とその空間の間を埋めて繋いでいくことによって、新たに大きな一つの作品ができあがる。その中で変わりゆく知覚の変化を体験するというものです。



*萃点とは…物事が交差する点。音、物、時間、人間など、全ての物事にはそれぞれの筋道がある。そのサイクルが交差する点が萃点であるとする南方熊楠のつくった言葉。
日本人アーティストとリトアニア人アーティスト、それぞれの素材、作品音、すべての交差する展覧会という意味を込めています。

11月の休館日

定例休館日(月)(火)
5(火)
11(月)、12(火)
18(火)、19(火)
25(月)、26(火)

4(月) 祝日のため
開館



2(土)、3(日)、4(月・祝)
16(土)、17(日)

参加アーティストはそれぞれ独自の専門分野を持っており、永井朋生さんは打楽器奏者・作曲家であり、R.ヴァルチックさんは舞台美術芸術の大家。ディアナさんは現代美術家であり、画家、サウリウスは彫刻家、ルータさんは陶芸家であり、ガラさんはガラスのスペシャリスト。アイステイさんとドウマンタスさんは夫婦でミクストメディア、テクノロジーを用いた作品でよく知られています。

異なる芸術分野の接点を探りながら、音とオブジェクトが合わさって第3の(目に見えない部分) 作品を創り出す展示となっています。

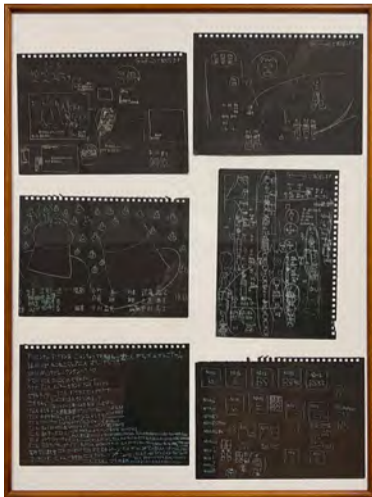


リトアニアでの展示の様子 (サウリウス・ヴァリウス氏)

参加アーティストのご紹介

ディアナ・ラダヴィチウテ Diana Radavičiūtė	絵画/インスタレーション
サウリウス・ヴァリウス Saulius Valius	彫刻/インスタレーション
ルータ・シパリーテ Rūta Šipalytė	陶器/インスタレーション
ダラ・テラスカイーテ Dalia Truskaite	ガラス/インスタレーション
アイステイ・ヴァリウテ Aiste Valiute] ミクストメディア
ドウマンタス・プラチャビシウス Daumantas Plechavičius	
レナタ・ヴァルチック Renata Valcik	インスタレーション
永井 朋生	音楽 / インスタレーション

西会津国際芸術村 スタッフ賞



「My Drawing NHK 2024」
石川 晃聖
(ドングリマン 絵画造形教室)
U15 部門

実行委員会賞



「高原の風」
新田 穂積 (西会津) / 一般部門

オーディエンス賞



「集い」
阿部 とよ子 (郡山市) / 一般部門

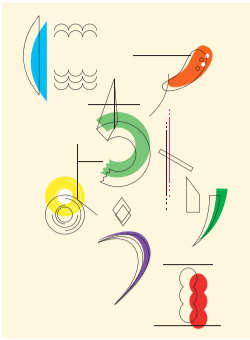
オーディエンス賞・投票者のコメント (一部抜粋)

- ・スズメがそれぞれ集っている様子と桜の花がとてもきれいです。
- ・スズメのふっくら感が可愛い。枝に緑や赤が描かれていて、木がいきいきしてる。
- ・優しい色使いがすごくいいです。鳥もふっくらかわいく癒されます。
- ・花が咲いてきれいになって会話しているのが想像できます。

9月25日よりスタートしました公募展は、10月20日に会期が終了いたしました。公募展会期中の来場者は721名。昨年以上に多くのお客様が鑑賞にお越しください、賑やかな会期となりました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。
そして、今年も投票による次の3賞が決定いたしました。

投票による3賞決定

第19回
西会津国際芸術村公募展
2024



“にちようアトリエ”は、「美術」を通じて子供たちに創作・表現を楽しんでもらう場所。



第19回の公募展が終了しました。アトリエでは自分で筆をとりますが、作品を見ることもとても楽しいですし、作品について考えることはもっと刺激があります。アトリエでも子供達と一緒に鑑賞する時間をとったり、西会津小学校の高学年の皆さんも学校のプログラムとして公募展を鑑賞しに来てくれました。子供たちは、深く作品に潜り込み、心も脳もフル回転で作者の真剣な思いに真っ直ぐに向き合っているようでした。芸術の秋、芸術村以外でもあちこちで様々な展示やイベントが開催されています。ぜひ皆さんも、お子様やお孫さんを連れてお出かけしてみてください。きつといつもとは違う一面を見ることができるとおもいますよ。

10月のアトリエ

にちようアトリエ11月予定表

11/2 「アーティスト部屋 OPEN！」 @ふるさとまつり (注)土曜日です！ 今年も出張アトリエとしてふるさとまつりで一緒に遊びたいと思います！今回はアーティスト部屋なるおえかきのお部屋をご用意してお待ちしております。OPENは11/2のみですのでご注意ください。時間は9:00～15:00、参加無料です！

11/10 おやすみ

11/17 「秋のほっこりランタン作り」 まずはガラス瓶に好きな模様を描いてみましょう。材料はマスキングテープの予定だよ。瓶の中に電池タイプのキャンドルをセットして出来上がり。秋にぴったりのランタンになるよ！

11/24 おやすみ

にちようアトリエは、毎週日曜日 13:30～15:30(時間内の出入り自由)、予約不要・参加費無料・年齢不問！誰でも参加できるのでお気軽にお越しください。

スタッフおすすめ 今月の本

今日の宿題

Rethink Books 編



美味しいものや季節のコトとかいろいろ...



この本は、「じぶんカフェ」にてお読みいただけます。

芸術村スタッフオススメの本を紹介。今回は平澤が担当します。今回ご紹介するのは厚さ5センチの小さい辞書のような見た目で「宿題」と書かれた本です。その中身は、作家や音楽家、俳優、美術家、デザイナーなど様々なジャンルの計320人がそれぞれの視点から私たちに問いを一つ投げかけます。自分では思いつきもしないことを考える機会をくれる、自分や他者への理解が深まる一冊です。

秋が深まってきましたね、今年の秋はわりと暖かかったので紅葉が遅かったように思います。それでも芸術村の校庭には赤や黄色に色づいた葉っぱが落ちていて、見つけると集めたくくなりますね。厳しい冷え込みがないとなかなか色づかないというのも、自然って不思議。冬眠する準備として、木の本体から葉っぱに樹液が送られなくなって、残った養分が分解されて色の変化が起きているらしいのですが、子どもの頃は、寒くて凍えるので暖かい色で視覚的にあたたまるように紅葉するのかな。と思っていたりしました。雪で真っ白に覆われる前の鮮やかな山々をあと少し楽しみたいと思います。



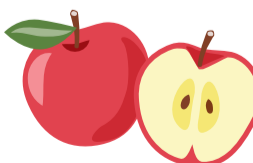
インスタ日記



#芸術村の日常 #20周年

芸術村には、中学校であったときの教材とアーティストの作品が入り交じって展示されています。第1期アーティストキャストさんの作品「朝露と草たちの目覚め」(2005年)。そろばんと並び、展示されているこの作品。先日、来館者の方からこれはどのように使われていたのですかと質問されました。数を数える教材と間違われたようです。教材との親和性が高すぎました。

マワリテメクハ *季節の薬膳ノート* 「りんご」



りんごは胃腸の消化力を高め、未消化の食べ物の消化を促進します。胃腸が弱っている時は食事を控えめにしたりりんごをいただくことでスッキリします。また、水分を生み出す作用もあり、身体や肺が乾燥している人や汗をかいた後にも合います。空咳が出る時にもオススメです。ほてりや熱性疾患、発熱時の水分補給としても役立ちます。お子さんの発熱にはりんごをすりおろして食べさせると、すぐに吸収され、脱水予防に役立ちます。

こんな食べ方がオススメ

りんご(2個くし切り)、白ワイン(50cc)、砂糖大さじ2、生姜スライス(3枚)、レモン汁(小さじ1)を小鍋に入れ、そのままの状態10分ほどおき、りんごから水分が出てきたら中火にかける。煮立ってきたら、ごく弱火のまま10分ほど火を通す。りんごが透きとおってきたら、ラム酒(小さじ1)と、クコの実(大さじ1)を加え、火を止める。そのまま鍋の中で完全に冷まし、煮汁を含ませたら完成！



西会津国際芸術村は今年で20周年



【HP】



【Instagram】



【Facebook】



【YouTube】

